

読書のすゝめ

その21 H 28 7 / 7

ビブリオバトルに参加！

全国高等学校書評合戦2016 (関東甲信越大会)

9月18日(日)に大正大学を会場として、「ビブリオバトル」(書評合戦)関東甲信越大会が開催されます。自分のお気に入りの本を5分で発表し、参加者が「一番読んでみたい」を基準に投票し、「最多票を集めたものを『チャンプ本』とするゲームです。参加無料。発表者はもちろん観戦希望者も募集中です。興味・関心を持ち、くわしく知りたい人は図書館(井坂)まで！



ビブリオバトルとは？

公式ルール

- 1 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分行う
- 4 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。



たったこれだけのルールで、遊べば読書がスポーツに変わる！
本を読むのが楽しくなる！
いろんな本に巡り会えて、どんどん世界が広がる！
紹介の際にはシンプルに本とカウントダウンタイマーだけ。あとは、ライブでアドリブで本について語ります。レジュメは準備せず、パワーポイントなども利用せず、生の語りで紹介しましょう。

このツイートはOKか？



『その「つぶやき」は犯罪です』 鳥飼重和 新潮新書
思わずブログに綴った悪口、正直に書いた店のクチコミ、良かれと思って拡散させた噂話、気軽にしたSNSのタグ付け：これらが全て「犯罪」だとしたら！
誰もが気軽に「発信」できる時代には、誰もが知らぬうちに加害者や被害者になる。著作権侵害、名誉毀損、個人情報漏洩、虚偽広告など具体的な相談事例を元に、自分や会社を守るための知識を弁護士が徹底解説。インターネットを使う全ての人に必読の一冊。

☆ 以前紹介した本ですが、今回のバンングラデシユ人質テロ事件のニュースを見て・・・

『エンジェルフライトー国際霊柩送還士』佐々涼子 集英社



第10回(2012年) 開高健ノンフィクション賞受賞

外国人が日本で亡くなったら遺体はどうなるのだろうか。日本人が外国で亡くなった場合はどうするのか。国境を越えて遺体や遺骨を故国へ送り届ける「国際霊柩送還」という仕事があり、エアハース・インターナショナル株式会社が日本初の専門会社である。ネパールで遭難した邦人トレッカーの遺体入国業務に携わる。その後、エジプト・ルクソール襲撃事件の被害者、パキスタンの車両転落事故の犠牲者、イラクでの外務省職員襲撃事件における職員の遺体を搬送している。さらにスマトラ島沖地震、パキスタン邦人教職員殺害事件、ミャンマーでのフリージャーナリスト殺害事件、アフガニスタンの国際援助団体の職員殺害事件の国際霊柩送還を担当する。新聞に報道されるような大きな事件、事故では必ずといっていいほど彼らの働きがあるのだが、それが表に出ることはない。それは死を扱う仕事だからだ。